

熊本地震に伴う

ご支援について



独立行政法人国立病院機構 菊池病院 院長 木村 武実

この度は、心温まるご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

4月14日と4月16日に発生した震度7の地震（熊本地震）では、当院の建物等に甚大な被害を受けました。2度目の地震（本震）により2つの重症心身障害（児）者病棟では、天井の落下、壁や柱の亀裂から、倒壊の恐れがあるとして立入禁止になりました。また、渡り廊下の天井が崩落し通行止めに、水道・ガスのライフラインが使用不可能となりました。幸いにも入院患者様および職員に負傷者がなかったことが唯一の救いでした。

そのような中、皆様からは、さまざまな形で励ましのお言葉や支援物資を賜りまして、何よりも心強く励まされ、病院再建に向けて勇気と元気をいただきました。

改めて心から感謝申し上げます。

あの悪夢のような日から早いもので3ヶ月が経過しようとしています。まだ余震が続いており、心休まる日はまだまだ遠いようですが、職員が一体となって復旧、復興に取り組んでおります。

重症心身障害（児）者病棟では、一時的に他の建物に避難、現在、一般精神科病棟のひとつを改修し、重症心身障害（児）者病棟として運用を開始しました。さらに、これに加えて作業療法棟の大部分を病棟として使用するために改修を進めております。

復旧、復興には長い時間が必要になるかもしれませんが、これまでの皆様からのご厚情に感謝申し上げますとともに、今後とも、菊池病院へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。